

少年野球の「都幾川アストロ」 23年ぶりに県大会出場！

都幾川アストロスポーツ少年団（野球）が、（公財）埼玉県スポーツ協会埼玉県スポーツ少年団が主催の埼玉県西部ブロック大会に優勝し、23年ぶりの県大会出場を果たしました。指導者代表の吉野さんは、「非常に嬉しく思います。今年は結団50周年の節目。優勝決定時は選手や関係者みなが無量で涙しました。運営・活動に携わっていただいた全ての方に感謝します。当団メンバーは新たな都幾川アストロの歴史を刻んだ自慢の選手たちです」と誇らしげに話してくれました。県大会の壁は厚く、残念ながら初戦で敗れてしまいましたが、今回で得た経験を活かし、さらなる活躍が期待されます。



都幾川アストロスポーツ少年団（野球）
活動日時 毎週(土)・(日) 8時～12時
活動場所 本郷第1球場
代表・監督 吉野貴志
(65-2020・090-1695-9359)
保護者会長 中村光伸 (090-9018-0480)
体験練習も随時受け付けています。

23年ぶりに県大会に出場することができた、都幾川アストロの皆さん。

写真説明

森林整備の大切さ教える 間伐材で丸太アートベンチ

9月29日(金)、萩ヶ丘小学校において、児童が「丸太アートベンチ」を制作しました。使用した丸太は、森林の維持のため、間伐したヒノキを玉切りにしたもので、越生町の地域おこし協力隊の嶋田さんの技術によるものです。それに、低学年はカラーマーカー、高学年はペンキを使い、「世界に一つだけのベンチ」を思い思いに描きました。活動には、前述の嶋田さんや、大正大学地域創生学部の学生5名も参加し、児童の作品作りを見守りました。主催した「ときがわベンチプロジェクト」代表の森田さんは、この活動について「森林整備で間伐される丸太の有効利用として、継続的に活動していきたい」と話しました。制作したベンチは、今後、弓立山に飾られる予定です。



思い思いに制作する、萩ヶ丘小学校の児童たち。ペンキを初めて使う児童も多かったようです。

写真説明

越生町から伝わる、大附日枝 神社ささら獅子舞を奉納

10月8日(日)、大字大附地内の日枝神社にて、ときがわ町無形民俗文化財のささら獅子舞が奉納されました。この獅子舞は、越生町麦原から伝授されたといわれ、日枝神社の氏子の方たちにより受け継がれてきました。現在は第2日曜日に開催されています。新型コロナウイルス感染症の影響で4年間休止していましたが、この度再開されることとなり、3つの舞が夕方まで披露されました。



木屑の上で行われるこの獅子舞は、舞うたびに木の香りが漂っていました。

写真説明

雨を願う獅子舞 上サ地区ささら獅子舞を奉納

10月8日(日)、萩日吉神社にて、ときがわ町無形民俗文化財のささら獅子舞が奉納されました。10月の第2日曜日に開催されるこの獅子舞は、アメツプリササラとも呼ばれ、雨乞いと深いかわりを持つ獅子舞です。今年は、新型コロナウイルス感染症で休止後、初めての実施となるので、簡略化し神社では1庭のみ行われました。



萩日吉神社にて行われた、上サ地区ささら獅子舞の様子。

写真説明

小川地方武道大会 剣道の部で好成績

9月17日(日)、体育センター（せせらぎホール）において、小川地方武道振興会主催の第68回小川地方武道大会が開催され、「ときがわ剣道スポーツ少年団」が剣道の部に出場。好成績を収めました。

【個人戦】小学4年生の部（重泉大絆）2位
小学6年生の部（石橋健）優勝・（大川原翔真）2位
中学生女子の部（大島来望）優勝・（野中佐恵）2位
【団体戦】小学生男子の部2位
中学生女子の部3位



活動場所 せせらぎホール
活動日時 毎週(土)18時30分～20時
(日)16時30分～18時
体験練習も随時受け付けています。
連絡先 剣道部部长 坂本 (090-4396-5991)

「団員が少ない中、頑張って活動しています。練習を見学に来てください。新しく入団された方には竹刀をプレゼントします。」

写真説明